

令和2年度帯広市教育研究所

第1回運営委員会

日 時

令和2年6月1日（月） 書面開催

出席者

伊 賀 真 美 委員	市之川 敦 子 委員	内 山 奈帆子 委員
加 藤 瑞 希 委員	新 津 貴 裕 委員	瀧 川 秀 敏 委員
田 中 理 恵 委員	早 川 一 之 委員	春 山 俊 裕 委員
藤 崎 博 人 委員	松 本 浩 子 委員	渡 邊 毅 広 委員
高 橋 讓 所長	傳法谷 肇 指導主事	十 倉 智 秀 指導主事
久 永 恵 子 調査研究専門指導員	本 郷 美 香 事務員	

議 事

- (1) 委員長及び副委員長選出
- (2) 令和元年度事業報告
- (3) 令和2年度事業計画

《運営委員からの意見》

(1) 委員長及び副委員長選出について

運営委員全員の承認により、次のとおり選出しました。

委員長：春 山 俊 裕

副委員長：瀧 川 秀 敏

(2) 令和元年度事業報告

- 教育研究所の調査・研究が、学校現場に役立つ内容となっている。これからも、学校現場に役立つ内容を調査・研究していただきたい。
- 調査・研究の内容から、調査・研究への熱い思いを感じた。これからも、魅力的かつ、明日からの実践に生かせる調査・研究をしていただきたい。
- 研修講座への参加が多く、引き続き参加者の増加が期待できる魅力ある講座内容の実施をしていただきたい。
- 今後も、調査・研究の成果が、教育現場において活かされることを期待している。

(3) 令和2年度事業計画

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、できることは限られてくると思われるが、帯広の児童生徒及び教職員のためになる調査・研究や研修の実施を期待したい。
- 教育研究所が作成し、HPに掲載した動画や学習課題は、新型コロナウイルス感染症対策を進める学校や家庭において、有効に活用されていると感じた。
- 新型コロナウイルス感染症対策が求められる中において、オンライン会議システムやオンライン授業の環境整備等を進めていただきたい。
- 新設の生徒指導に関する研究を行うことは、不登校等の改善につながると思うので、しっかりと進めていただきたい。